



アクアチント

あくあちんと

造形ファイル <http://zokeifile.musabi.ac.jp/>

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A
B
C

D
E
F

G
H
I

J
K
L

M
N
O

P
Q
R

S
T
U

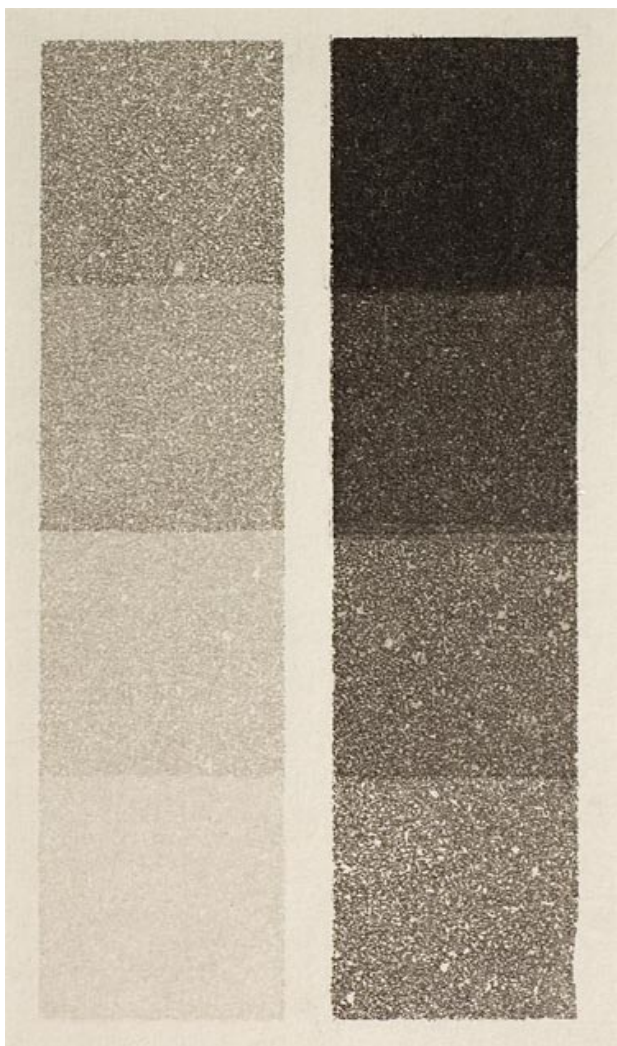
V
W
X

Y
Z

数
字



アクアチントによる制作例



概要

アクアチントは、凹版画において、金属版を腐蝕させて製版する腐蝕技法（間接凹版技法）のひとつで、版面に松脂やアスファルトの粉末を撒いて加熱定着、腐蝕させることで多孔質な版面を作り出します。こうしてできた版は、エッチングでできる線の表現とは違い、面で水彩画のような濃淡の調子を表現することができます。

E 一般的なアクアチントの手法は、松脂を用いる方法です。松脂はあらかじめ乳鉢などで磨り潰し細かい粉末にして、ガーゼや手ぬぐいなどの布の中に包んでおきます。次に溶剤できれいに拭いた版面に、松脂の粉末が入った布包みを上下させて粉を版面に散布します。この時の作業は、風が遮られた場所で行なう必要があります。室内で行なう場合は、エアコンは切っておきます。これは、松脂の粉末が風で飛散してしまうのを防ぐためです。松脂を均一に散布したら、版の裏からコンロなどで丁寧に熱して松脂粒子の接面部周辺を溶かし、版面に定着させます。加熱することで網状に定着した松脂は腐蝕を防ぐ防蝕剤となります。反対に、粒子間に露出した金属の部分が砂目状に腐蝕されることで、腐蝕された凹部にインクがつまり、面で濃淡を表現することができます。腐蝕は版が冷めてから、必要な調子を見ながら行い、腐蝕後松脂を落とす際には、アルコールを用いて除去します。アクアチントは、松脂の散布量と加熱具合が最重要です。散布する量が多いと松脂が隙間なく全面を覆ってしまい、適度に腐蝕されません。加熱し過ぎた場合も、同様です。反対に加熱不足だと、腐蝕中に松脂が剥離し、版全体を平坦に腐蝕してしまいます。気をつけましょう。松脂を散布する際には、アクアチントボックスと呼ばれるものを使用する場合があります。アクアチントボックスは、密閉された箱の中に版を入れ、箱の下部に付けられた吹きごやファン、圧縮空気などを使用し、松脂の粉末を舞い上げることで、版面に均一に松脂を撒くことができる道具です。

アクアチント 制作工程

工程 1. 腐蝕しない部分に防蝕剤を塗る



腐蝕を必要としない非描画部分に筆などを用いて防蝕剤（黒ニス）を塗布します。

工程 2. 版面に松脂を散布する



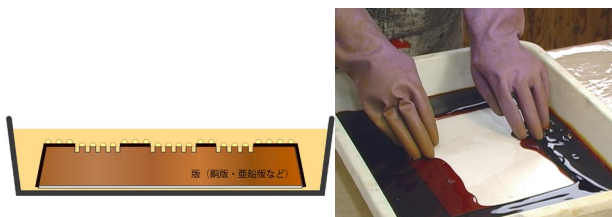
防蝕剤を塗布して乾いたら、描画部分である露出された版面に松脂を均一に散布していきます。

工程 3. 松脂を版に定着させるために加熱する



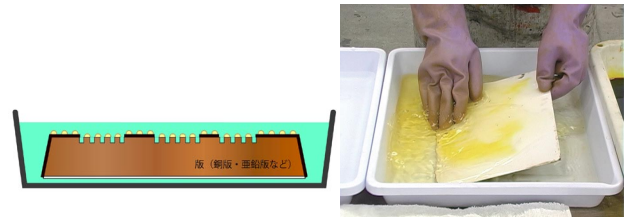
散布された松脂を版面に定着させるため、版を加熱します。こうすることで、松脂が溶けて網状に定着します。松脂が白色から透明に変わったら、版を火から離して冷まします。

工程 4. 腐蝕する



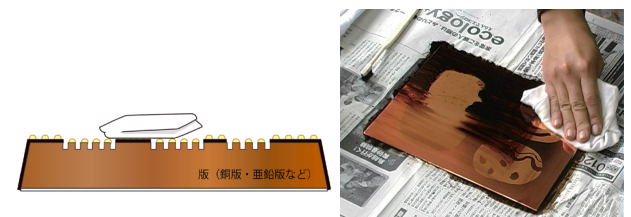
版が冷めたら、腐蝕を行います。腐蝕時間によって、印刷した際の調子が変わってきます。長時間腐蝕する場合には、腐蝕カスがたまるため版を下に向けて腐蝕させます。

工程 5. 腐蝕液を水で洗い落とす



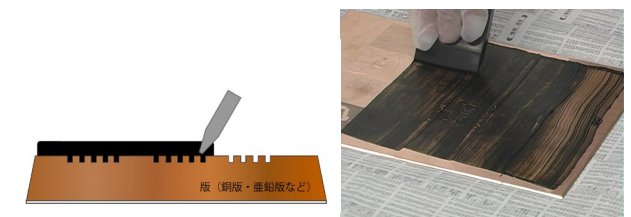
腐蝕が完了したら、腐蝕液を水できれいに洗い落します。塩化第二鉄水溶液を使用した場合には、醤油で中和させて腐蝕を止めることもできます。

工程 6. 松脂と防蝕剤を洗い落とす



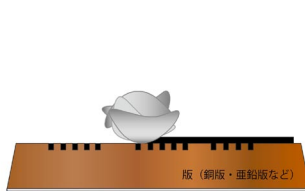
腐蝕の工程を終えたら、版面に定着している松脂と防蝕剤を拭き落とします。ウエスなどを使い松脂はアルコールで、防蝕剤はプリントクリーナーで落とします。防蝕剤を落とすことができれば、リグロインで再度版を綺麗に拭きあげます。また必要に応じて再度腐蝕行う場合は、工程 1 から繰り返して行います。

工程 7. 刷り・インクを詰める



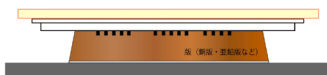
松脂と防蝕剤を落とし、版をきれいにしたら刷りを行います。まず、ヘラで艶が出るまでインクを練り、ゴムベラなどを使い版にインクを詰めていきます。

工程 8. 刷り・余分なインクを拭き取る



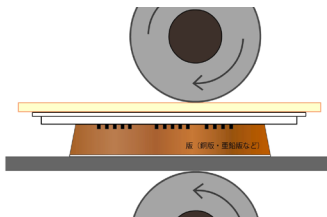
余分なインクは寒冷紗などを用いて拭き取ります。荒拭き、中拭き、仕上げ拭きと段階ごとに丁寧に拭き取ります。

工程 9. 刷り・紙、あい紙、フェルトをのせる



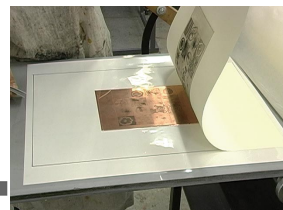
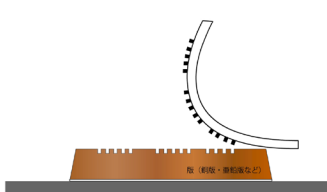
版にインクを詰め、余分なインクを拭き取り終わったら、版をプレス機のベッドプレートに置き、その上に紙、あい紙、フェルトの順にのせていきます。

工程 10. 刷り・プレス機を通す



プレス機を通して圧をかけることで、版から紙にインクを転写します。最後まで一定のスピードを保つようにしてプレス機のハンドルを回します。

工程 11. 刷り・プリント完了



フェルトとあい紙をあげて、刷り状態を確認しながら、紙ばさみを使いゆっくりと紙をめくります。